

アンケート結果で振り返る ワクワクWORK

中学生職場体験学習

市教育委員会では、9月13日から同17日までの5日間、市内の中学2年生890人による中学生職場体験学習「ワクワクWORK」を実施。今年で12回目を迎えました。中学生や受入事業所にとって、「ワクワクWORK」はどのような体験だったのでしょか。今回は、生徒や保護者、受入事業所へのアンケート結果(平成20~22年度)を紹介しします。

■問い合わせ先 教育政策課 ☎(36)5099



洋菓子店で接客する生徒(左)

★保護者のアンケート結果★

グラフ3 中学生職場体験事業「ワクワクWORK」のことは、以前から知っていましたか？

回答内容	H20年度	H21年度	H22年度
知っていた	60%	70%	75%
事業内容を少しは知っていた	15%	18%	15%
聞いた事はあったが、ワクワクWORKという名称を知らなかった	10%	10%	10%
全く知らなかった	10%	5%	5%
無回答	5%	5%	5%

コメント
「ワクワクWORK」の事業が継続して実施されてきたため「事業内容をだいた知っていた」という割合が増加し、「全く知らなかった」という割合が減少しています。保護者の間でもこの「ワクワクWORK」事業が広く認知されていることが分かります。また、「ワクワクWORK」期間中などに、家庭の中で子どもと職場体験での出来事や「働くこと」「進路」などについて会話をした割合は、平成22年度は94%となっています。子どもが将来の進路を考える際に家庭の果たす役割は重要です。この事業が親子で「将来の生き方」を考える契機となることを願います。

保護者の主な意見・感想
▽「ワクワクWORK」で働くことや給料をもらうことのたいへんさが少し分かったようで、家の手伝いをするが増えました
▽地域の事業所の協力がなければ成り立たない事業なので、子どもを受け入れて、5日間指導してもらった事業所にとっても感謝しています
▽実社会の厳しさや温かさを感じ、将来の進路について現実的に考えるようになったようです

自分の生き方を考える学習活動「ワクワクWORK」

●社会に出る前に 事前学習
各中学校では、「ワクワクWORK」に向けて「身近な人の職業」や「興味がある職業」などについて調べ、社会人としての基本的なマナー(あいさつや返事など)を学習します。また職場体験の前には、受入事業所と生徒が仕事内容や服装などについて打ち合わせをしています。

●地域の事業所で 5日間の職場体験
生徒たちは、市内の事業所に分かれて5日間の職場体験に挑みます。今年、生徒を受け入れた事業所は、ショッピングセンター、商店、旅館、レストラン、喫茶店、病院、植栽作業をする生徒たち

●職場体験後に 振り返る事後学習
生徒たちは、職場体験活動全体を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりすることで、自分の生き方や将来の進路についての考えを深めます。

介護施設、農園、保育所、幼稚園、小学校、コミュニティ・センター、消防署など250カ所です。生徒たちは、各事業所で「仕事」をすることで社会の厳しさや人間関係の重要性、あいさつや礼儀の大切さを体験し、学習します。

★受入事業所のアンケート結果★

●コメント
どの年度も、3日目ぐらいから生徒の行動や意識に変化が生じているようです。事業所のみなさんから指導を受ける中で、生徒はあいさつや返事などができるようになり、職場にある程度慣れ、自主的に仕事をするようになるには3日ほどかかるようです。「ワクワクWORK」の職場体験期間を5日間としている理由がここにあります。

●受入事業所の主な意見・感想
▽地域全体で地域の子どもの成長を見守る体制は必要と考えます
▽早期に職場体験を通して働くことについて学ぶ機会を得ることは、就業意識の希薄な学生や早期離職者の減少につながると考えます
▽あいさつや返事などのコミュニケーション、自分で考え行動する力、周りの人を思いやる心などを日ごろから学校で教育してもらいたい
▽生徒に指導をする社員にとっても仕事の意義などを見つめ直し、意識を高める機会となっています

グラフ4 「ワクワクWORK」の5日間で、生徒にどのような変化が見られましたか？(複数回答可)

変化内容	H20年度	H21年度	H22年度
あいさつや返事ができるようになった	35%	40%	38%
事業所の人やお客さんとのコミュニケーションが上手になった	25%	30%	28%
自分から進んで仕事をしようとするようになった	20%	22%	18%
工夫するようになった	15%	18%	15%
仕事のやり方を自分なりに工夫するようになった	10%	12%	10%
特に変化はなかった	5%	8%	5%
その他	5%	5%	5%

グラフ5 変化が見られたのは、何日目からですか？(変化が見られた場合のみ)

日目	H20年度	H21年度	H22年度
1日目	5%	15%	10%
2日目	30%	35%	30%
3日目	45%	48%	45%
4日目	10%	12%	10%
5日目	5%	5%	5%
無回答	0%	0%	0%

★生徒のアンケート結果★

●コメント
どの年度も、職場体験をする中で90%以上の生徒が、自分の興味や適性、将来の進路や職業について考えていることが分かります。教室を出て社会で実体験をすることが、生徒へ大きな影響を与えていることが分かります。

●コメント
どの年度も、事業所で教わった特に重要なこととして「社会人としてのマナーや礼儀、あいさつ」「コミュニケーション、人間関係づくり」が高い割合を示しています。事業所のみなさんが、社会人としての基本的な態度、社会人としての第一歩を生徒へ指導されていることが分かります。また、生徒は職場体験を通して、仕事の内容ではなく社会人としての基本的な態度を学んだことが印象に残っていることが分かります。

グラフ1 自身の興味や適性、将来の進路や職業について考えることができましたか？

回答内容	H20年度	H21年度	H22年度
かなり考えることができた	30%	35%	32%
少しは考えることができた	65%	60%	65%
考えることができなかった	5%	5%	3%
全く考えることができなかった	0%	0%	0%
無回答	0%	0%	0%

グラフ2 「ワクワクWORK」を振り返って、事業所の人から教わったことで特に重要なことはどういふものだと思いますか？(複数回答可)

重要なこと	H20年度	H21年度	H22年度
あいさつや礼儀	25%	28%	25%
コミュニケーション	15%	18%	15%
マナーや礼儀	10%	12%	10%
社会人としての基本的な態度	8%	10%	8%
仕事の内容	5%	5%	5%
その他	5%	5%	5%

まとめ 中学2年生にとって、「ワクワクWORK」で社会に出て、事業所の人たちに教えてもらったことは、学校で先生に教わることは違った印象を与えたことでしょう。生徒たちは、それぞれの事業所で5日間体験したことや気付いたことを振り返り、言葉で表現して伝え合う中で他者と体験を共有し、自己認識を深め、将来の夢や進路、生き方についての考えを深めていくことになりす。

「働くこと」「学ぶこと」の意義を考え、目的意識や進路意識をしっかり持って進学や就職をする若者を育てるには、学校や家庭の教育力に加え、地域の事業所の理解と協力が不可欠です。未来を担う若者を育てる活動にこれからも協力をお願いします。